



# 0～5歳で決まる、優れた脳の育て方



大脳生理学の最新研究で、0～5歳までの幼児期に生涯にわたっての学習の基礎が固まることが確認されています

生まれてから最初の5年間で脳細胞は猛然と連結されていきます。赤ちゃんが五感を使う度に、それぞれの細胞がつながり、このつながりによって、考えたり、感じたり、行動したり、学んだりするようになります。科学者は「子どもが新しい情報を受け入れるのに最も適した時期がある」と言い、この時期を「機会の窓 (Windows of Opportunity)」と呼んでいます。



## Building Your Baby's Brain A Parent's Guide to the First Five Years

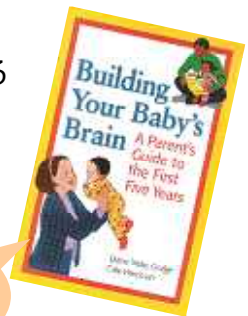


### ビルディング・ユア・ベイビーズ・ブレイン 【誕生からの5年間でできること】

- 生まれてから最初の5年間で脳細胞は猛然と連結されていく
- 多くの体験を受け入れれば、連結される脳細胞の数はどんどん増える
- 言語の配線図を作るのに大切な時期は、生まれてから最初の5年間
- 様々な遊びの経験が、赤ちゃんの脳を築いていく
- 保護者の方との関わりが、他者との関わりの基盤となる

◎著 者：ダイアン・トリスター・ドッジ、ケイト・ハロマン  
◎発 行：ティーチング・ストラテジーズ

スクールで  
買えます



脳内に言語の配線図を作るのに大切な時期は、生まれてから最初の5年間だと言われています。できるだけ多くの言葉を聞けば、それだけ多くの言葉を理解し、学ぶようになります。5歳までにたくさんの言葉を知り、使った子どもは、読むこともたやすくできるようになります。

音楽を聴き、音楽を作ると、脳細胞の配線が強烈につながります。この連結は、算数の問題を解くときに使われる連結と同じものです。子どもと一緒に音楽を楽しむことが、学校での算数の準備をすることになります。



遊ぶことは、子どもにとって最良の学習方法です。様々な遊びの経験が、赤ちゃんの脳を築いていくのです。赤ちゃんが、聞いたり、見たり、触ったり、味わったり、匂いをかいだりする度に、脳にメッセージが送られ、配線がつながっていきます。

Printed with permission from Diane Trister Dodge, Cate Heroman, "Building Your Baby's Brain"